こが聞きたい

あきお昭夫

,備えあれば患いいない家庭もあります。

緊急時の情報

雑音等で電源を入れて

あり、また機材が古く れていない家庭も多く

井

うす 雅

力な指導をお願いしま 伝達に備えてさらに強

町政を問う

answer

質 QUESTION 問

緊急時の情報伝達は

その中で一番大切なこ

す。

災害時の情報伝達手段 します

総務課長

す。

わが町の緊急情報

今年も大きな災

か。

昨今、 き、改めて地震の怖さ 地震がさけばれている ました。東海・東南海 地を視察することがで 丈夫でしょうか。 し住民を震え上がらせ 過日、 私たちの町は大 害が各地で発生 熊本地震の現

当時の状況説明を聞き を認識しました。 市役所の担当者から

じめ、いまだ設置がさ あり驚いています。新 家庭が想像以上に多く 機の設置状況を調べま います。そこで、無線 などに効果を発揮して 情報伝達や日常の伝達 無線があり、緊急時の しく入居された方をは したら、無線機のない 私たちの町には広報

明がありました。 情報をいち早く住民に とは「緊急時の確かな を痛感しました」と説 知らせることの大切さ そこで、お尋ねしま

伝達は大丈夫でしょう たい。 に推し進めていただき 今一度思い起こし、強 固な防災活動を積極的 忘れかけている災害を

回签 た、 町にとって、忘 れ得ぬ大災害で 9・12安八水害

たい。 めて検討していただき あり、設置場所等を含 れないこともしばしば 向き等により、聞き取 器の設置も検討を!風 さらには、屋外拡声 の重要な役割を果たし

安八水害から40年、

ず、経年劣化により雑 受信機の設置台数の 年が経過しています。 合は75・3%です。 わせもあり、役場で調 音等が発生する問い合 ています。また、戸別 大きな更新はしておら ています。 導入して28 修理を行い改善し

の方に参加していただ 企画展を開催し、 に伴うシンポジウムや から40年が経ち、 多く

財政負担も大きく、こ

屋外拡声器の増設は

れまで行っていません。

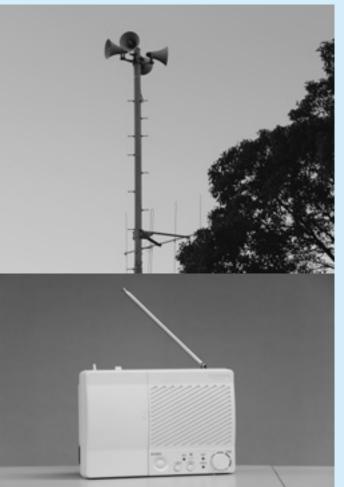
きました。 広報無線は、 災害時

> 行政広報無線を核とし 今できることは、防災

て、サイレン、緊急速

供していきます。 クさせ、災害情報を提 報メール配信サービス まちづくりに取り組み 情報伝達手段の拡充を の増設を含む災害時 およびテレビ等をリン 今後は、屋外拡声器 安全・安心の 0

ます。



屋外拡声器 (写真上)・戸別受信機